



# 通信

HP 学校だより  
R3. 7. 20  
NO. 15  
文責 伊藤美佳

## 1 学期を振り返って

新型コロナという今までに経験したことのない病気と闘いながらの1学期が終了します。保護者の皆様、地域の方々のご理解とご協力があったからこそ、無事1学期を終えることができましたと思います。本当にありがとうございました。1学期を振り返ると・・・

1学期を通して、一人一人がマスクを着け・手洗い・消毒・3密を避けることに気をつけながらの生活でした。しかし、明るく元気に過ごせた子が多くいて感心しました。

また、「豊坂小あいうえお」を意識して、「あ・あいさつ」を誰にでもしっかりできていた子、「え・笑顔」で生活できていた子からは元気をもらえました。代表委員会の子たちが「あいさつ」について取り組み初めてから今日まで呼びかけ続けたことはすばらしいと思います。（「継続は力なり」）「い・一生懸命勉強」した子は、分からない問題を最後まであきらめずに解こうとがんばっていました。校長先生問題と格闘し、あきらめずに考えて「できた！」ときの子供たちの笑顔は忘れられません。「う・運動」会は校内となってしまいましたが、子供たちは「お家の人に見てもらおう」から「他の学年の子たちに見てもらおう」に気持ちを切り換え、練習をがんばることができました。校内運動会が終わったときの子供たちの「楽しかった！」は感動しました。「お・思いやり」友達が困っていたら、やさしく声をかけたり、手伝ったりする子供たちもたくさんいました。また、子供たちは、毎日、育てている野菜やお花に水をやったり、飼育している生き物の世話をしたりできました。

1学期は保護者の皆様に見ていただく行事が実施できませんでしたが、毎日の学校生活で、「工夫して、自分たちでできることを楽しむ」「自分たちのやっていることを発信する」などを経験し、学年を超えたつながりができつつあることをうれしく思います。これが、「あこがれの連鎖」へとつながっていくことを期待したいです。

さて、明日から42日間の夏休みに入ります。「豊坂小・あいうえお」はもちろん、夏休みの間しかできないことをしっかり経験し、2学期さらに頑張れる心と体づくりをする時間としてください。子供たち自身が、自分のがんばったこと、友達の良いところをたくさん発見できる夏休みとなってほしいです。

最後に、豊坂っ子のみんな、保護者の皆様にお礼があります。

1つ目は、子供たちが家族のためにするお手伝いを1つ決め、責任をもって続けさせてください。初めはうまくできないかもしれません。時間がかかるかもしれません。しかし、家族のために頑張れる自分を発見し、楽しさを感じ、自信となる機会づくりをお願いします。2つ目は、SDGsについて、子供たちと一緒に考えてみてください。SDGsの17の目標を通信の裏に載せておきます。そこから子供たちとともに「自分ならどんなことができるのか」考える時間をつくってください。たとえば、身近な生き物を守ること、食べ物を粗末にしないことなど、子供たちが大人になったときの地球を守るために、「今、何ができるのか」と考える機会になればと思っています。そして、2学期には、子供たちから教えてもらいたいと思います。

夏休みが子供たちにとって、かけがえのない宝物の時間となりますように。そして、次に会うときには、笑顔いっぱいの豊坂っ子たちに会えますように。

